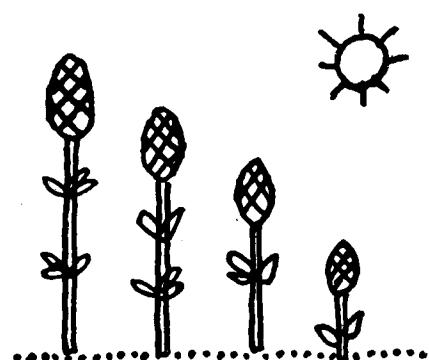


Heimat

父故郷の地よ
母故郷によ
なる故郷よ
苔水のしたたりに
なる故郷よ
静まる山々に
木々はさわと
美しい青空に
さわさわと
さわと
さわめく



第8回定期演奏会

ハイマート合唱団

主催：京都大学音楽研究会

1969. 12. 12 (金) 6:30 P. M.

於 京都会館 第2ホール

ごあいさつ

今宵は、お忙しい中をようこそおいで下さいました。

私達は、この一年間、大学に関わる者が皆真剣に考えねばならぬ問題をかかえ、又、練習場が満足に使えぬ、といった状況のもとで、合唱活動を続けて来ました。そのことは、単に歌い、楽しむというのではなく、私達の生き方を合唱活動を通して問いつめ、音楽研究会のモットーである『音楽をもっと広く、もっと深く』を実践しようとすることでもあります。

私達の合唱活動が社会に対してどういう役割を持ち、音楽と人生がどう結びつくのか考え方、昨年の演奏会での、「私達の演奏は、説得力において、まだ甘さがある」との鋭い指摘に答えようと努めたその成果を、本日の演奏で聞き取っていただければ幸いです。

どうか、最後まで、私達の演奏をお聞き下さって、率直なご意見、御批判を下さることを、そして、今後とも、私達の活動を見守って下さいますようお願い申しあげます。

1969. 12. 12.

マネージャー 田中啓司

PROG

I フォスター作品集

指揮 仲村昌夫

Old Folks at Home

Ten. Solo 野呂治

Oh, Susanna

Thou Art the Queen of My Song

Bar. Solo 今井昭夫

De Camptown Races

Ten. Solo 佐々田哲哉

My Old Kentucky Home

II 鷹觜洋一作品集

指揮 高橋隆夫

ピアノ伴奏 堀田愛

祭の唄

盛岡山車推進会選定

Ten. Solo 植田安生

山荒れる

高村光太郎作詞

Ten. Solo 佐々田哲哉
朗誦 橫山一郎

III とても大きな望み

牟礼慶子作詞

中村茂隆作曲

指揮 仲村昌夫

Sop. Solo 畑知子

Mezzo Sop. Solo 高月光子

Ten. Solo 古川健

休憩

R A M

III 山田耕筰作品集 (増田順平編曲)

指揮 仲村昌夫

砂 山

北原白秋 作詞

赤とんぼ

三木露風 作詞

ペチカ

北原白秋 作詞

あわて床屋

北原白秋 作詞

この道

北原白秋 作詞

V 十の詩曲

ショスタコーヴィッチ作曲

井上頼豊

桜井武雄

合唱団白樺

）共訳

指揮 古川健

1. 仲間たちよ、さあ行こう
2. じぶんひとりではない
3. 街へ！
4. 囚われて送られる日に
5. 死刑の戦士
6. 1月9日
7. つつ音も はやたえて
8. 力つきで
9. 五月の歌
10. 歌

曲 目 解 説

I フォスター作品集

スティーヴ・コリンズ・フォスターは、1826年ペンシルベニア州、ローレンスヴィルに、富裕な実業家の九番目の子供として、生まれました。彼は、純粹にアメリカ的な性格をもった歌曲を最初に書いた作曲家であり、彼の作品は、すでに一世紀以上の間全世界で愛唱されていますが、生前は、そのすぐれた才能にも十分報いられず、37才の若さで貧困と孤独のうちに、ニューヨークの病院でこの世を去りました。私達が彼の歌曲にひかれるのは、平易な旋律構成の中にたたえられた、美しい情緒や、あたたかい情感故であり、また、深い愛情の表出した、彼の人間性故であります。フォスターの作品には、南部の黒人生活に取材した、いわゆるプランテーションソングが多いのですが、実際には、彼はほとんど南部を知らず、「スワニー河」も地図を広げて、この小さな川を見出し、作曲したとのことです。

II 魔晄洋一作品集

● 祭 の 喰

この曲は岩手県盛岡市の八幡宮の祭礼に出る山車(だし)の音頭をモチーフに作されました。中間部のテナーソロがこれに当たります。

実りの秋、今年も豊作を祝っての秋祭りです。双肌を脱いだ若い衆達が山車をひき出してきました。山車の先頭では扇をかざしたのど自慢が音頭をとり、大勢のはやしがこれに続きます。力一ぱい太鼓を打つ者、山車をひく者、喰う者、これは男の祭りです。

● 山 荒 れ る

第二次大戦後、高村光太郎が岩手県の山小屋にこもった事は知られる通りです。東北の山奥での一人っきりの自炊

生活中で、年老いた彼が何を考えていたのか、その一端がこの詩の中に見出されます。

山を嵐が襲う一日、彼は人間社会と隔絶したちっぽけな山小屋の中で畠炉裏に薪をほうり込みながら、一人、大自然と対しています。彼の心を吹き荒れる嵐は、彼に或る真理を教えます。

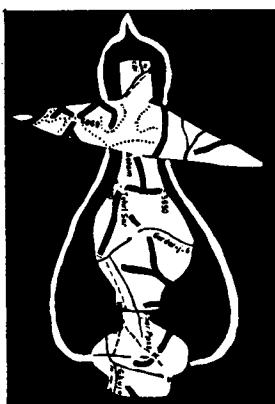
人間は自ら作った文明を誇りにしているが、それはせいぜい原爆を造って、自らを滅ぼす程度のものでしかない。そしてこの大自然、宇宙。永遠の沈黙の中を永遠に動き続ける恒星、惑星。この永遠の宇宙に比べると、人類もその文明も何と微細である事か……。

彼の主張は、「ダモクリスの剣」の下に生きる20年後の私達にも何かの共感を呼ぶのではないでしょうか。この共感を求めて、今宵歌います。

III とても大きな望み

これは現代の童話です。しかし歌詞をちょっと見て下さい。鳥だの、犬だの、船だのまるで一昔前のお伽話ではないでしょうか。現代社会をみていると、もうほら吹き太郎が、私達の前に姿を現わす余地などないような気がします。街にはアーケードが完備し、道は車の洪⽔です。私達はもはや雨によって行動を妨げられることはほとんどありません。ビルにはエアコンディショナーが普及し、地域ごと気候を変えようとしている国々もあります。航空工学の進歩は、私達を瞬時にして、世界の涯まで運んでくれます。農業技術の改良により、凶作・飢饉もありません。それでは、太郎は、黙りこむ以外にないのでしょうか。いいえ私達の忘れているものがあります。頭の上の青い空を、たった一つの空を忘れていました。そして太郎は「全ての人が望むなら、世界を一つにしてみせる」と言っています。

この一言の言いたさに、太郎は、出番を待っています。私達はなぜ生きるのだろう。生きるって何なんだろう。も



珈琲の店

Hütte
ヒュッテ

京・智恩院電停前
TEL (075)541-5572

曲 目 解 説

う何度も自問して、とっくに飽きてしまった、この問いか
けが、再び生命を得るのです。そして、どうして、俺はあ
いつと、いがみ合ってなどいるんだろう。許してやればよ
かった、いや俺を許してくれないかなあと、そんな風に感
じるのです。淋しい、悲しい人のさがを感じるのです。皆
さんもたまには彼に会いに行ってやって下さい。きっと彼
は目を輝かせて、話し出でてしまうから。

IV 山田耕筰作品集

山田耕筰は、東京音楽学校卒業後、ベルリン高等音楽学校で作曲を学び、帰国後、わが国最初の交響楽団である、東京フィルハーモニー管弦楽団を組織し、日本楽劇協会を創立するなど、内外で活躍した、日本楽界最大の指導者であります。なんといっても私達にもっともなじみの深いのは、彼の歌曲、それも童謡でしょう。これらの曲を私達の一時期への鎮魂歌として、そして、私達がこれからも「歌って」といための一つの確認として演奏したいと思います。



すくなくとも
二回は読みなさい
アーノルド・ベネット

四条の書房

海 南 堂

四条河原町東電停前 T E L (221) 3075

海
浜辺の石きり遊び
とび散ったしぶきに
ぼくらの耳の中の岬が浮かび上がる
遠い水平線

× × ×

秋の空のひろさ
赤とんぼが十字路でつかう魔法
古い言葉達と一緒にになった
風と憧れ

× × ×

星と嵐の 風の会話
雪の夜の 静かにゆれる 小さなメロディー
おごそかな彫刻のような炎の記憶

× × ×

東の風が吹いて
あの明るく勾やかな風が吹いて
光の中に
かすれた喉は 歌うことを
おずおずと想い出す

× × ×

みち
ほかにも先に行った人たちがいる
ほかにもあとから来る人たちがいる
みち
このみち

曲 目 解 説

V 十の詩曲

ショスタコーヴィッヂ作曲の「十の詩曲」は彼のはじめの無伴奏合唱曲です。彼の第5・第11交響曲や「森の歌」は余りに有名ですが、この曲は1948年のジーノフ批判に答えた一連の彼の作品の一つで、「森の歌」と並んで「民族的形式」と「社会主義的内容」とを統一しようとする社会主義アリズムの潮流に大きく位置しています。20世紀初頭、ロシアではツァーリズムのもとで陰惨な生活を余儀なくされていた農民の一揆が続発し、都市ではそれに呼応するようにストライキが続いて革命の気運がようやく高まろうとしていました。そして1905年の「血の日曜日」事件で第一次革命へとロシア革命の一歩を踏み出すわけですが、「十の詩曲」は第一次革命のころの進歩的な革命詩人達の詩によって、革命前夜のロシアの生活・緊張・感情・精神を合唱の集団的な力で表現しようとしたものです。革命・社会主義ナントカという言葉からは私達はともすれば乾いた、非情な印象を受けがちですが、ショスタコーヴィッヂの民謡的な美しい旋律、あるいは器楽的な色彩感と相まって、この民衆詩人達の直接的な言葉から溢れ出る生活感情が、私達に生き生きと迫り、人間的な感動をひき起してくれます。内容は十楽章よりなる組曲で、各楽章は独立していますが、歴史的な連関性をもって進行します。

この一年間、京大闘争の焦点とも言うべき教養部バリケードのすぐ近くのBoxでの活動は、私達にとって合唱活動を続けることは是非が問われるまでになったようでした。私達の中から起きた闘争に前向きの態度で活動を続けて行く為には、合唱活動を闘争の一つの原点としてとらえ、共に考え、話し合いながら歌って行く必要がありました。このような問題に十分に答えてくれる曲として私達は「十の詩曲」をとりあげ、逆に「十の詩曲」は私達の生活と切り

離すことのできない闘争を考えてゆくことによって、私達の生活感情を吐露できる曲になると想えるのです。ハイマートの人数と力量で全曲を歌うのは無謀とも言えるのですが、標題音楽としてのこの曲に取り組むなら是非とも全曲を歌いたい私達の気持もわかつて頂けると思います。

1. 仲間たちよ、さあ行こう

すぐれた化学者で詩人であるラージンの詩です。ラージンは1880年代から革命運動に這入り、1896年捕えられてヴォトカに送されました。この詩は彼がヴォトカの牢獄を出て、仲間たちと共に都に帰るときに作られ、1900年春完成されました。曲は8分の9拍子、演奏時間1分に満たない短いのですが、逆境の中にあっても出てくる、確信に満ちた力強い明るさに憧れを感じさせられます。

2. じぶんひとりではない

学生時代から革命運動に這入り、数回の投獄経験を持つタラーソフの詩です。厳しい獄中の生活にある若者の内面を描き出します。美しい印象的な旋律、レシタティヴ的な動き、弦楽四重奏的な手法等、ショスタコーヴィッヂ音楽の格調の高さが、4つの肉声パートの特徴を存分に發揮させてくれます。

3. 街へ!

1902年、40年来の沈黙を破って農民運動が爆発し、11月にはロストフでゼネストが続き、1903年7月にはゼネストの波は南ロシア一帯に広がりました。この章は1902年2月にオデッサで撤かれたビラにあった作者不詳の詩によります。全曲が「ナ・ウーリツ！」（街へ）の呼びかけで、ストライキの盛り上がりを感じさせられます。演奏は非常に難しく、最大の難関です。



ブラザーライブのショールーム四条通に誕生!!

楽器の事なら何でもご相談下さい

ピアノ・オルガン・ギター各教室生徒募集中

ブラザーライブ

下京区四条寺町通西入 241-3566

取扱商品

京都四条ショップ

ピアノ・オルガン
ステレオ・楽器
レコード・楽譜

曲 目 解 説

4. 囚われて送られる日に

労働者出身の眞の革命家グミィリョフの詩です。テノールの旋律が、格子を隔てて見つめ合う愛人への感情を、切なく、あるいは、激しく、あるいは優しく歌います。

5. 死刑の戦士

同じくグミィリョフの詩です。バスから始まる4声フーガでロシア的な馴染み深い旋律が流れ、静かな美しい旋律的レシタティヴォにつづきます。重苦しく静まり返る獄舎の中で、捕えられて死を待つだけの若者の悲劇を描いています。

6. 1月9日

1905年1月9日、飢えに苦しむペテルブルグの労働者14万人は僧侶ガボンに率いられて、自由とパンを嘆願にツアーリの宮殿に行進しました。そして冬宮の広場で数知れぬ人達が苦悩するロシアの人柱となりました。有名な「血の日曜日」をドラマティックに展開します。同じくショスタコーヴィッヂの交響曲11番でなじませたメロディが繰々と歌われ、親しみ易い楽章でもあります。コーシの詩です。

7. つつ音も はやたえて

市街戦に倒れた戦士への哀悼歌でタラーソフの詩です。アルトの低音域でのレシタティヴォ。ソプラノの告げる哀悼のことばは聞きどころです。弱体な女声で存分に味わって頂けないのが残念です。

8. 力つきて

盛り上がった革命への波も、支配者の強大な力に敗れ去

り、一層厳しい弾圧の下に人々は苦します。しかし民衆の激しい怒り、未来への強い信念までも打ち碎くことはできませんでした。その人達の感情が息苦しいまでの迫力を持って迫ります。グミィリョフの詩。

9. 五月の歌

コーシの詩集「労働者の歌」中の詩。メーデーをたたえる人々の声、そして明るい歌声と共に力強い行進が始まります。

10. 歌

最後は壮大な輝かしい讃美で幕を閉じます。ホイットマンの詩をタンボゴラースが訳したものです。バスの三部合唱で導入し、テンボは段々と速まり、急速な春の訪れるように近づく、明るい未来の生活のよろこびが延々と歌われます。「森の歌」の終楽章と類似しています。混声四部という貧弱な表現手段にも拘らず、オーケストラを思わせる壮大さと、豊かな色彩感を持っています。一度歌えばこの曲の素晴らしさは忘れられない程の魅力を持っています。

(文責 古川健)



中 華 料 理

……本場の味でおなじみの……

東

園

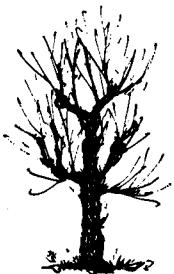
東一条電停西入 T E L (77) 4908

パート紹介

Soprano

総勢70余名のハイマートの中で、たった14名の私達ソプラノ。男声の迫力に負けじと声をはり上げているつもりなのですが。何分かよわい女性ばかり。指揮者からも、他のパートからも、「声がそろわない」「もっと大人らしい声で」とお小言が頻々。何とか声を合わせ、気をあわせてと気ば」かりあせって、なかなか思うようになります。それに、他のパートに比べて静かすぎるようです。各々が個人の殻を破ってパート全体としてまとまりにくいのが、今のソプラノの弱点。でも本当は皆頗りになる女性ばかりなんだけなあ。

とかくメロディーを受け持つことが多いだけに他のパートに支えられているという安易な気持からぬけ出して、私達は、お互いにより近づいて、より豊かな歌を唱おうと努力しています。さあ、私達の歌声をお聞き下さい！唱っている私達を御覧下さい！努力の跡が感じられるでしょう？



Alto

一見オトナソラノにひきくらべ、見るからに活発で人間的魅力にあふれている、それがハイマートのアルトです。

強い個性の持ち主が多く、自己主張も強いので、パートの声をもっとそろえなくちゃ、もっと協調性を發揮しなさいなど、リーダーからよく叱られ、その時にはおとなしくなるのですが……。（勿論その中には、本におとなしい人もいます——それが私。）母親のごとく、暖かい安定した声を出そうと努力するのですが、4回生1名、3回生5名、2回生4名、1回生4名とあまりに若々しく、残念ながらいつも指揮者に、「イロケのない声を出すなあ」とのしられてばかり。みんな成長途上にあるんですから、もう少し長い目でみてやって下さい。

又、ソプラノにはたしなむ人の少ないさるものを愛好する人も多く、アル・コンとは実はアルト・コンパの意味ではないのだ、とカゲロをたたく毒舌家もあるようです。

「アルトは混声合唱でもっともうたいがいのあるパート」と愚かにも信じ、「今はハーモニーのつぶし役かもしれないけど、そのうちきっと…」とファイトをもやして練習にはげんでいます。どうかアルトに暖かいご声援を！

純喫茶
ビュッフェコーナー

凱旋門

京・河原町三条下ル二筋目東入ル
TEL(221)0855・2755

パート紹介



Tenor

ハイマートの幼稚性を象徴しているのが、あの、非常にかわいらしい声を出す、ソプラノだとすれば、さしづめ、テナーは、白痴的な歌い方を売り物にしているというところでしょうか。虚無的な性格の持ち主が多いためか、魂が抜け出てしまったような歌い方をしていつも指揮者におほめの言葉をちょうだいしております。そのせいもあってか、音痴ぞろいのためか、いつのころからか、パート練習の時には、ピアノの独占権が暗黙のうちに認められるようになり、よろこぶべきことか、悲しむべきことかと皆首をかしげています。このように、妙な和音が聞こえたら、まず、テナーをにらめ、という考え方を指揮者に植え付けているテナーですが、本日はいつもの成績を、いっぺんに挽回しようと、全員はりきってガ怒るつもりでいます。どうか、皆さん、テナーだけには、おしまぬご声援をいただきたいと思います。

Bass

ベースと言えば、もうおわかりいただけますね。豊かな響き、莊厳な低音の魅力。主役の時はあくまでも力強く（ガナルナ！）、脇役の時はハーモニーを支えて、大地もゆるがす響き、時にはハーモニーをもゆるがして……（音がサガル！）。

ところで、声の音色というものは、人の性格に大きな影響を与えるらしい。ベースの男性は大体において、真面目で、莊重で、立派な男性ばかりである（？）

さよう、ベースはハイマートの大黒柱である。Boxにいつもいるのもベースなのである。それが故に、ベースのみで男声合唱を、いや、混声合唱をさえもやるのである。わがハイマート・ベースの心意気を見よ！と、まあ、ベースが書くと、雑文もこんなに莊厳なものになるのであるゾヨ。



ブランズウィック最新鋭機A-2
1 Floor 36 Lanes

京都国際ボウル

百万辻西入北(30m) TEL 075(791)8185~6

指揮者プロフィール

古川 健

『ハッタリ屋』人は彼をこう呼び、彼も又、それを自認する。実に、彼は指揮者就任以来、このハッタリを武器として我々をひっぱってきた。しかし、彼のハッタリにはいやみがなく、不自然さもない。かえって我々をひきつける何ものかを、内に有している。思うに、人を魅了せずにはおかしい彼の性格が、ハッタリをさえも、彼の人間的魅力の一つに変えているのである。そんな彼も、最近ではハッタリを卒業し、豊富な音楽性と、あざやかな指揮技術とで、我々を意のままに操れるまでに成長した。彼も又、ハイマート歴代指揮者中、名指揮者の一人に数えられるのではなかろうか。

ひとたび指揮棒を握れば、四十男のツラだと称されるその顔に、厳しい一線が走るが、不斷の彼は、顔面筋無力症だと称されるほど、いつもニコヤカである。そのため、女性にあらぬ誤解をうけること数度。お人好しの彼は、それを又誤解して、『オレはモテル』と自惚れているから救い難い。又、しばしばパチンコ屋出入りし、生意気にも、ハイライトの包みなどをかっさらってくる。硬軟両刃を使いわける男、彼は実に愛すべき人間である。

仲村 昌夫

彼が指揮台の上に立つ。その瞬間、練習場に沈黙が流れる。そこには、言葉を発することのできない、一種独特の圧力が存在する。練習が終ると、即座に上着を着、指揮棒を鞄に突っ込んでBoxから出て行く。彼をひそかに慕う女性が居た所で、これでは話しかけることも出来ないのでは……と、心配する向きもあるが、練習から離れて、個人的にぶつかると、さにあらず。合唱音楽に関する高い理想から、団員に対する細かい配慮まで、さすがわがハイマートの常任指揮者。情熱あり余って、話し相手と口論になることも少なくない。その次の日の練習では、必ず、指揮棒さばきが冴えるとか。

彼も2年目に這入って性格も丸くなり、指揮自体に余裕が出てきたとは、うるさいハイマート雀達のおしゃべり。

高橋 隆夫

ハイマートにおいて最も苦労した上級生の一人であり、そのかいあって一般教養の豊富さにおいては右に出る者はいないと、本人も豪語している。彼の音楽観はハイマートにおいて築かれたため、合唱に対するきびしさは人一倍である。男声合唱の正指揮者となって以来、わずかに四ヶ月で1ステージを振るのだから、指揮者としてはまだ未経験であり、素人っぽい。しかし、彼独特的の押しの強さと熱い血の流れる彼の全身が、それをカバーする。彼一流の文学的センスによる鋭い詩の解釈を内に秘めて、ハートの底からわきあがるような音楽を創り出す。彼の指揮棒がつくり出すのは、熟練したなめらかな女性的美でなく、多少ぎこちなくても力強い男性的美である。常に団員が練習中にかた苦しい雰囲気にならないように気を配り、のびのびと男だけで歌う楽しさ、ハモる楽しさを感じさせようと努力する彼。彼はうまい指揮者ではないが、真に指揮者らしい情熱をもった指揮者である。



合唱団プロフィール

この合唱団は、九年前に京都大学音楽研究会の中から、混声合唱団として組織されました。音研そのものは、新制大学移行期に、数台の『三高』のピアノを囲んで創立された音楽サークルで、演奏面ではソロを中心とするものでした。しかし、合唱は数人集まれば手軽に出来ますし、何と言っても歌う事は楽しい事で、会員の間では『京大混声合唱団』の名称で合唱が行なわれたりしていました。ハイマート合唱団は、こういった情況の中から、合唱を主にとりあげてゆこうとするグループとして生まれたのです。以来九年、合唱団の性格も変化してきているように思われます。

ハイマート=故郷の名を持つように、初めは本当に少人数のグループだったものが、七十人を越す合唱団に成長しました。とりあげられた曲も、色々なものがあります。民謡をとりあげた年、先輩の作品を唱った年もありましたし、モーツアルトのミサを数年間連続してとりあげたりもしました。今年はショスタコーヴィッヂの作品までとりあげました。したがって、パレストリーナ以後、バロックから近代・現代に至るまで、十二音音階以外は手にしたことになるようです。おののの選曲には意味がありますし、四年たてばメンバーの一新する私達学生の合唱団に、完全に一本じの通った傾向を求めるのは不合理でもあります。しかし、ここに、直接創設の息吹にさらされておらず、かといって歴史に甘える訳にはゆかない合唱団の曲り角といったものを見出す様にも思えます。今後、良い意味での伝統を育ててゆく事はハイマートの課題となりそうです。

この一年

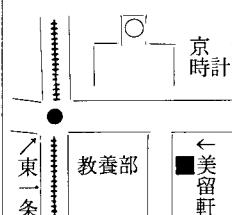
去年の定期から一年余り、わがハイマート合唱団にとっては、起伏の多い、ながい月日でした。激動する社会と大学闘争がさまざまな問題を投げかけ、ハイマートはその中で苦悩し、試練に耐えなければならなかったのです。一月末からの教養部ストライキは、教養の学生が多数をしめるハイマートに一時的な空白を生みだしました。この間私達が合唱団員として考えるべきことは何だったのでしょうか。現状における音楽・合唱活動をどのように意義づけるか、ということが焦眉の問題として存在していました。容易に結論のだせる問題ではありません。しかし、避けて通ることはできません。練習再開の段階では各自の意識はまちまちであり、突っ込み方が不十分だったことは否定できません。その結果、問題は問題としてそのまま残ったのです。

活動空白状態のもと、「うたいたい」「合唱したい」という欲求を団員の多くがもっていました。それをほとんど唯一のよりどころとして、私達はまったく不完全ながら、練習を再開しました。それは二月半ばのこと。空白は短かったけれど、その影響と、空白をひき起した原動力ともいべき学内情勢、さらにサークル観の違い等によって団員間に生じた断層は、三月の合宿で表面化したのです。大荒れに荒れた三月合宿、そこで勝利をしめたのは、なんとかしてハイマートを建て直そうとする方向でした。それはある意味でハイマートナショナリズムかもしれません。しかし、その底には、「なおかつ合唱をやりたい」という団員の切実な願いがあったのです。

四月以降、有望な新入生を迎えて、活動もなんとか軌道に乗り、第八回定期演奏会を開くまでになりました。けれども前に述べた問題点は残されたままです。『現状』は片時たりとも静止せず、刻々と移りかわってゆきます。その中にあって私達は、常に新鮮な問題意識を持ち、それと対決しつつ、新たな創造意欲をもって合唱をつくりあげてゆかねばなりません。それには

京大と共に歩む

理髪 美留軒



京大時計台

TEL
(771)2964

東一条
教養部

美留軒

京大正門前

ナカニシヤ書店

TEL 761-4121 (代表)

皆様方の

鈴蘭食堂

東一条電停西入ル南側

自己に対するきびしさが、音楽・合唱に対する真に情熱をもった態度が要求されます。それらを音楽の中にこめて演奏という形で総合的に発表するのが定演であると私達は考え、今宵演奏いたします。

役員及び団員

顧問 高安国世 芦津丈夫
マネージャー 田中啓司
サブマネージャー 今井昭夫 富士年子
ヴォイストレーナー 木内忠徳
(平安高校教諭)

	Sop.	Alt.	Ten.	Bas.
パートリーダー	宮田 匡子 文Ⅲ	加藤 晶子 理Ⅱ	野呂 治 工Ⅱ	有田 義之 文Ⅱ
サブパートリーダー	横川真知子 文Ⅱ	船井都喜枝 薫Ⅱ	一色 義和 文Ⅱ	今井 昭夫 工Ⅲ
	堀田 愛 文Ⅰ			小柳 滋 工Ⅱ
パートマスター	小南 幸 薫Ⅱ	藤本 道子 文Ⅲ	長島 孝 工Ⅱ	坂上 恵 工Ⅰ
サブパートマスター	橋本万里子 文Ⅰ	萩 千果 農Ⅰ	高田 泰治 法Ⅰ	荒川 正夫 工Ⅰ
		森本 順子 文Ⅰ		松下 数男 工Ⅲ
				宇土 顯彦 工Ⅰ
高月 光子 文Ⅳ	山口 智子 薫Ⅳ	植田 安生 工Ⅳ	木村 吉宏 工Ⅳ	
水野 恭子 薫Ⅳ	江藤 敬子 文Ⅲ	佐々田哲哉 理Ⅳ	諏訪 浩 理Ⅳ	
森 ゆか子 薫Ⅳ	大谷 玉枝 教Ⅲ	田代浩一朗 法Ⅳ	塚本 睦浩 工Ⅳ	
守屋 玲子 薫Ⅳ	大西 啓子 教Ⅲ	北山 素純 工Ⅲ	中塚 正 理Ⅳ	
乾 とよ子 文Ⅲ	西原 秋子 文Ⅲ	南部 孝男 法Ⅲ	森川 賢一 工Ⅳ	
畑 知子 薫Ⅲ	福岡 和子 薫Ⅱ	古川 健 工Ⅲ	横山 一郎 理Ⅳ	
広瀬 京子 文Ⅲ	富士 年子 文Ⅱ	石川 秀樹 文Ⅱ	内田 正明 工Ⅲ	
久佐 倫子 薫Ⅰ	井手 路代 農Ⅰ	隠岐 保博 工Ⅱ	高橋 隆夫 経Ⅲ	
畠山 京子 薫Ⅰ	高橋千津子 薫Ⅰ	小林 典夫 理Ⅱ	仲村 昌夫 理Ⅲ	
		高野 裕 工Ⅱ	中川 宗司 文Ⅱ	
		田中 啓司 農Ⅱ	弓削 道雄 法Ⅱ	
		森 利明 工Ⅱ	川勝 信介 法Ⅰ	
		川本 雄二 農Ⅰ	閑谷 真理 I	
		佐々木常雄 工Ⅰ	永井 寛 工 I	
		中村 均司 農Ⅰ	花田 富次 法 I	
		八木 孝 文 I	東川 憲治 経 I	

食事と喫茶と音楽を

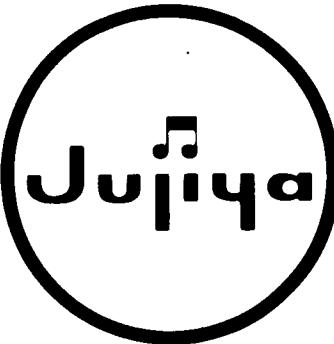
円 (まどい) 居

百万遍京大テニスコート横入ル

東山近衛東入ル

宴会料理承ります

TEL (771) 7736



おんがくの
すべてが
ここにあります

寺町三条東入
211-2 4 3 1

爆発的人気

スリル満点

ニュー オリンピア

京・河原町三条西北角

花 洛

TEL(231) 0691

カラーレビ

ステレオ

オール有名メーカー

電化製品と
電子無線通信 パーツなら

安くて品揃豊富・買い良く修理サービス迅速参上
各種クレジット・銀行ローンもお取扱い致します。

株式
会社

ヒエン堂

京都市下京区寺町四条下ル

本店

寺町綾小路角 TEL(361)-0371(代)

中店(サービス店)

寺町綾小路下ル TEL(361)-0377(代)

配送(南店)

寺町仏光寺下ル TEL(361)-0379(代)

洗濯全自動

電子レンジ

旅行革命 20万円も安くなった画期的なヨーロッパ旅行



ヨーロッパへファンファーレが鳴りわたりました。

ジャルバック・ジョイの誕生です。圧倒的な安さ、
旅程は12日間からの新鮮な企画。時間に余裕のない
方でも、わずかな休暇で憧れのヨーロッパへお出か
けになります。コースは主要都市のほとんどを網羅
した中身の濃い旅行。専用のデラックス・バスで
ヨーロッパの美しい自然、飾らない素顔にふれて
回るのも楽しみのひとつです。季節割引のため、
期間は11月から来年4月まで。

満員にならぬうちに、お申込みはお早目にどうぞ。

ヨーロッパへの最大の翼

6種類の画期的なヨーロッパ旅行

ヨーロッパ12日間(11~4月発) 295,000円

ヨーロッパ14日間(11・1~4月発) 303,000円

ヨーロッパ15日間(11・3・4月発) 313,000円

ヨーロッパ18日間(12・3・4月発) 348,000円

ヨーロッパ22日間(11・2~4月発) 389,000円

ヨーロッパヤング22日間(3月発) 328,000円



日本航空

京都営業所...075(222)0222